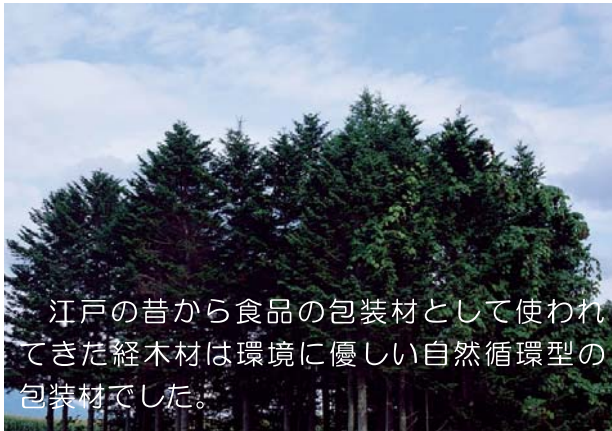


経木を使った新商品の開発 —創業 180 年の伝産企業が新市場に挑戦—



江戸の昔から食品の包装材として使われてきた経木材は環境に優しい自然循環型の包装材でした。

日本の「木の文化」と自然を感じる商品づくり

江戸時代から木具職人により作られていた折箱材料の経木を使った新しい木工教材の開発商品化を経木メーカーと行ないました。開発した製品は日本人が昔から身近な材料として触れてきた木の温もり、優しさ、素朴さ、香り、安らぎなどを体験しながら日本の「木の文化」と地球の自然環境について考えることのできる木工キットです。この製品は経木材（エゾ松の薄板）の曲げやすさや加工しやすさ、軽さを活かした動く経木モビールです。

経木は自然循環型の材料

経木材はエゾ松の間伐材や建築材等に製材した時の端材、熟齡木等を使用した薄板材で、通気性や抗菌性に優れているため食品包装材に適しています。また、使用後は堆肥化バイオマス利用もできるため、環境にやさしい自然循環型の材料と言えます。

ECO な素材には ECO なデザインテーマ

開発商品は経木材の自然循環をアピールするため、きれいな海と澄んだ空をイメージした魚類・海獣類・鳥類をデザインアイテムとし、ECO（地球環境保護）を全体のテーマとした商品展開を図りました。

経木の特徴を活かしたデザイン試作

経木の曲げる・切る・削る等の加工のしやすさを活かし各アイテムに特徴的な動きや表情が出るように工夫しました。

(1) 魚の模様に合わせて切り抜き加工（図 1）。

魚体の特徴的な模様に合わせて切り抜き、風の通り抜ける方向により動きが異なります。

(2) スペーサーを挟み込んだ立体構造（図 2）。二枚の切り抜き型を併せて中央部にスペーサーを挟み込み、曲面で包む立体的な形状にしました。これによりアイテムにボリューム感がでて、風により常に動き回っても全方位で鑑賞できます。

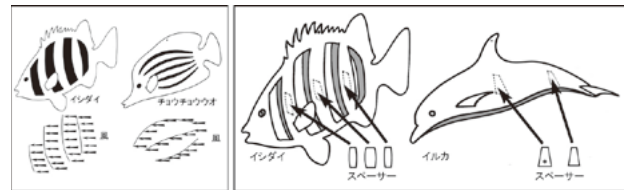


図 1 切り抜き

図 2 スペーサー

魚類・海獣類作製サンプル（写真 1.2）



写真 1 魚類



写真 2 海獣類

開発デザインの商品化

上記デザインサンプルより経木板用の抜型を作製し、台座のあるスタンドタイプのモビールを試作し最終商品化を行いました（写真 3.4）。



写真 3 魚類商品



写真 4 海獣類商品

事業化支援部 <城東支所>

秋山正 TEL 03-5680-4632

E-mail : akiyama.tadashi@iri-tokyo.jp